

Hopium は 2021 年 6 月に到来する水素セダンの原型を承認します

パリ、2021年2月23日 /PRNewswire/ -- 未来が作られています。レーシングドライバーのオリバー・ロンバード氏は、2021年6月に最初のハイエンドゼロエミッション水素駆動セダンである Hopium Māchina の原型が到来するのを確認しました。

マルチメディアニュースリリースを閲覧するには、こちらをクリックしてください:

<https://www.multivu.com/players/uk/8854851-hopium-confirms-hydrogen-sedan-prototype-coming-june-2021/>

昨年末にパリ証券取引所に上場したフランスのメーカー Hopium は、2025 年までにその車両が道路に衝突することで水素モビリティの世界的リーダーになることを目指しています。

この産業での偉業を達成するために、Hopium の CEO 兼創設者であるオリバー・ロンバート氏は、以前にポルシェ、テスラ、最近ではルシッドモーターズにいたカーデザイナーで、ホピウムマチーナの洗練されたデザインとエアロダイナミック ラインを承認するフェリックス・ゴダード氏、車両とその技術プラットフォームの開発調整を担当するプログラムディレクター（元 PSA および Safran）のロイス・ボイロ氏を取り込みました。

1 月下旬に発表されたこのユニークなプラットフォームは、次世代の水素自動車の基準を設定します。地球上で最も豊富な要素を提供し、最高レベルに引き上げるように特別設計されています。

革新的な独自技術を搭載したこのモデルは、水素自動車に比類のないパフォーマンスを約束します。わずか 3 分の記録的な補充時間で 500 馬力以上と 1000 km 以上の航続距離 (629 マイル以上) を実現します。将来を見据えて、それは私たちの時代の環境問題に対処しながら、スポーティで快適なキャビンでハイパーコネクティビティ、安全性、人間工学を組み合わせます。

現在、製造段階にある原型は、車両に組み込まれているさまざまな最先端技術を検証するために考案されたシリーズの初代です。それは、その工業化における厳格な準備における主要なステップを構成します。

HOPIUMについて

ル・マン 24 時間レースの最年少優勝者であるオリバー・ロンバード氏によって設立されたハイテクメーカーである Hopium は、プロ レーシングドライバーの経験によるものです。

オリバー・ロンバード氏は、水素を動力源とするレーシングカーを 7 年間運転しており、この分野で世界で最も経験豊富なレーサーとなっています。ル・マン 24 時間レースの最年少優勝者であるオリバー・ロンバード氏によって設立されたハイテクメーカーであるホピウムは、プロ レーシングドライバーとしての経験がもたらしたものです。輸送部門だけが温室効果ガス排出量の 20%を占めていますが、同社は気候変動のプレーヤーとしての地位を確立しています。

Hopium は、水素燃料電池および自動車工学セクターの革新の最前線にいる一流のパートナーと専門家のチームを結集します。

contact@hopium.com